

平成24年度第1回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

1 開催日時

平成24年6月7日（木） 15:30～16:45

2 開催場所

鹿児島市役所東別館9階特別中会議室

3 出席者

(1) 委員12人

(2) 事務局7人（総務局長、総務部長、情報システム課長、情報システム課4人）

4 会次第

(1) 第二次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について

(2) 第三次鹿児島市地域情報化計画策定事業について

(3) その他

5 議事の概要

(1) 第二次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について

発言者	議事内容
事務局	事務局から資料の説明
	質疑応答
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年から進捗が「△」となっている具体策6件について心配していたが、2件は実施され、4件は結果が出ていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4件については確認したところ実施は困難ではないかと思う。なぜ4年前に計画に含めたのか聞きたいところである。実施が難しいのであれば、担当課を含めて判断をした上で、次期計画には含めないという判断も必要ではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第二次計画を評価する上で内容を精査し、次期計画での取り扱いを判断したい。4件の状況が異なるため一概には言えないが、担当課と精査する。今回、進捗報告をした上で、次回の委員会で評価の事務局案を報告する。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多額の予算が必要な具体策も見受けられる。財政的な面も含めて厳しく評価していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICカード活用について、住基カードの発行枚数を年度毎に教えて欲しい。どの程度が二次活用の対象となるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口に対する普及率は5%程度と把握しているが、詳細は確認して報告したい。2年間無料で発行していたが、枚数は伸びていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 具体策ごとに個別の指標があるが、成果を取りまとめているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 参考資料①に成果指標を記載しているが、二次計画の評価の中で精査したい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指標の数値に関しては、単年度/累積の数値が混在しているので、分かりやすくまとめて欲しい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>

(2) 第三次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について

発 言 者	議 事 内 容
事務局	事務局から資料の説明
	<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「情報化に関する市民の意識調査」の結果を見ると Web を通じた情報の提供が増加し、市民のひろばの利用者数が若干低下しているが、高齢者を含め印刷メディアの信頼度は高い。大学でも広報誌のほうが信頼度は高いが、コストパフォーマンスはホームページの方が高い。</li> <li>● 意識調査は第三次計画にどの程度反映させるのか。</li> <li>● インターネットやスマートフォン等の情報通信機器の利用状況を参考に計画を策定する。</li> <li>● アンケートの意見をどの程度反映させたか集計する予定はあるか。</li> <li>● 第三次計画の策定する上での参考意見として承る。個人々人へのフィードバックは難しいが、何らかの方法でフィードバックできると思う。</li> <li>● 総合計画に「限られた財源の重点的・効率的配分、一層の権限委譲や税財源の充実・確保」とあるが、委譲の主語はなにか。</li> <li>● 国から地方自治体への委譲を指している。</li> <li>● 国では税、社会保障の一体改革の話があり、住基カードが利用されるかもしれないが、国の情報化政策も反映されるか。</li> <li>● 国の情報化政策の動向を踏まえて、第三次計画は策定する。</li> <li>● 限られた財源の中で、情報化に関しては重点的に推進すべき施策と思っている。</li> <li>● 国との連携もあるが、民間との連携（バスロケーションやラピカなど）が必要であると思う。民間との連携に関するルールはあるか。</li> <li>● 地域情報化計画では、担当局が推進する事業を施策として扱う。バスロケーションであれば、民間 5 社の話し合いの状況によって交通局が事業として取り上げる可能性はある。</li> <li>● 第三次計画では市の行政情報システムだけではなく、民間との連携が必要ではないか。</li> <li>● スマートフォン、タブレットの出現など ICT 技術の進歩によって、これまでは必要だったが無駄になってしまう施策もあると思う。</li> <li>● 第三次計画の策定では市民、事業者等との協働・連携を重要視している。市と事業者等との連携による IT フェスタが一つの事例になると思う。</li> <li>● 第一次計画の策定時は 1 人 1 台のパソコン整備もされていなかった。第二次計画では市役所の情報化もかなり進んだのではないか。</li> <li>● 鹿児島市の IT 産業も 20 年間で成長してきた。民間との連携を進めて欲しい。</li> <li>● 地域の情報化であるため、民間との連携についても検討する。</li> <li>● 市および観光のホームページはわかりにくいと思う。</li> <li>● 市のホームページはいつリニューアルしたか。</li> <li>● 平成 20 年 3 月にリニューアルしている。頂戴したご意見を参考にホームページを改善したい。ホームページをリニューアルすることを検討しており、第三次計画の中にも入れたいと考えている。</li> <li>● モニター制度等を活用しないと市役所だけでは解決が難しいと思う。</li> </ul>

委員長	● 鹿児島大学のホームページは規模を小さくし、電話に導くようにしている。やはり電話の方がわかりやすい。
委員	● 鹿児島市のホームページはリニューアルでよくなったと思う。ただし、サンサンコールの「よくある質問Q&A」に関しては、そこに導く導線が良くない。探さないと見つからない。情報を探している人を助けるような仕組みが必要だと思う。
委員	● 大震災、桜島の爆発など災害対策に関連した施策は入れてほしい。情報システムの BCP 体制を整えるなど計画の特徴を出す必要があると思う。今回のキーワードになるのではないか。
委員長 事務局	● GIS を導入したが、災害対策に関するものはあるか。 ● 「かごしま i マップ」で防災マップが閲覧できる。情報化計画では防災に関する施策も計画に含まれると考えている。
委員	● 災害時にツイッターが役に立ったという話を聞くが、SNS の活用は検討しているか。
事務局	● ツイッター、FaceBook など SNS の活用に関する施策を盛り込むことも検討している。
委員	● ICT の進歩は早い、5 年の計画期間中に動向が変わった場合はどうするか。
事務局	● 国の動向や技術動向等を踏まえて必要に応じて計画期間中に変更する可能性もあると考えている。第二次計画では計画の大枠は変更していないが、具体策を増やす等の変更はしている。
委員長	● 他に意見等がある場合は事務局へメールで連絡する。

(3) その他

発言者	議 事 内 容
委員	(1) カウチサーフィンのご紹介 ● 市民レベルの国際交流が可能なサービスだと思っている。市のホームページ等でも自分の体験を掲載したい。市民の意見を発表する場を構築して欲しい。
事務局	● 市ホームページには、市民の方等から寄せられたご意見とその対応を掲載するページもあるが、国際交流に関しては、国際交流市民の会（K I C S）のホームページを活用することも考えられる。 (後日、委員に対して、事務局より、K I C S とプロモーション推進室の観光サポーター事業について情報提供した。)
事務局	(2) IT フェスタ ● かごしま IT フェスタについて事務局から説明。

以上